

「防犯マンガ集」で特殊詐欺を防ぎます！

10月9日（木曜日）、杉並区立桃井第三小学校では、「防犯マンガ集」を使った授業が行われました。この「防犯マンガ集」は、荻窪警察署の協力を得て、昨年4月から今年8月までの期間、杉並区の広報紙で区民に紹介したものです。とてもわかり易いと好評であったことから、杉並区が「防犯マンガ集」として発行し、10月に区内のすべての小学生に配布を行いました。桃井第三小学校の6年1組では、この「防犯マンガ集」を教材にして、犯罪から自分の身を守ったり、大切な家族を守ったりするにはどうしたらいいかを考えました。そして、授業の終わりには、児童から祖父母などに宛て、特殊詐欺に気をつけてほしいと手紙を書きました。

杉並区や区内3警察署は、防犯自主団体、金融機関等との連携による特殊詐欺根絶集会を開催するなど、特殊詐欺の被害から区民を守ろうと努めてきました。しかし、杉並区の昨年の特殊詐欺の被害件数は、都内ワースト3位という状況となっています。

◆杉並区内の空き巣・特殊詐欺の発生件数

年次	20年	21年	22年	23年	24年	25年
空き巣	387件	355件	237件	141件	201件	196件
特殊詐欺	170件	47件	76件	65件	98件	126件
(被害額)	3億2000万円	8千200万円	1億2400万円	2億4400万円	4億2500円	3億4700万円

特殊詐欺の被害者の多くは高齢者です。その高齢者の子や孫を思う気持ちにつけこむ卑劣な行為です。それらの犯罪から区民を守るため、区の広報紙に昨年4月から月に1回、合計17回の4コママンガを掲載しました。マンガは、荻窪警察署の協力で、特殊詐欺の手口などを伝えるために作成したものです。これらのマンガは、わかり易いと評判になりましたが、特殊詐欺の根絶を目指す中、残念ながら被害件数が増えてしまいました。そこで、このマンガを1冊の本にまとめ、小学生全員に配布し、自宅に持ち帰り家族で防犯について、話し合ってもらうために作成しました。



この「防犯マンガ集」を活用した授業を行った担任の浦野教諭は、「この機会に、離れて暮らす祖父母や近所でお世話になっているお年寄りを思い浮かべながら手紙を書くという授業にしてみました。マンガの内容は、オレオレ詐欺の手口と高齢者の親心がよく判るものです。おじいさんやおばあさんにとって、子や孫は何ものにも代えがたい大事な存在で、その家族の信頼関係を悪用する犯罪だということを理解してほしい。」と話されました。

子どもたちは授業の中で、標語を作成。「おばあちゃん『オレだけど』には気をつけて」「なりすましお金をたくさんだましとる」「おかしいなそうと思ったら確認だ」などが発表されました。授業の最後には、子どもたちが祖父母などに宛てて、この日学んだことや標語を手紙に綴りました。